

## コラム 「第2回 国連 水と災害に関する特別会合」テクニカルセッションの共催

平成27年11月18日に「第2回 国連 水と災害に関する特別会合」が米国・ニューヨークの国連本部で開催され、ICHARM から小池俊雄センター長他2名が参加し、テクニカルセッションのうち、科学技術パネルの調整・進行を日本学術会議と共に務めました。このハイレベル特別会合には、各国閣僚を含む政府高官や、水問題と防災に関わる世界中の専門家やリーダー等、計400名以上が参加しました。

開会式では皇太子殿下が「人と水とのより良い関わりを求めて」と題した基調講演をされ、ICHARM の研究成果である統合洪水解析システム(IFAS)にも言及いただきました。開会式に続いて石井啓一国土交通大臣の参加の下、水と災害に関するハイレベルパネル・ディベートが行われ、続いてテクニカルセッションであるメジャーグループパネルと科学技術パネルが開催されました。「水災害軽減を推進するための科学技術の貢献」と題した科学技術パネルでは、小池俊雄 ICHARM センター長がモデレーターを務め、UNESCO や WMO を始め水に関する防災・減災のための科学技術の促進に力を入れている組織の代表をパネリストとして招いて意見交換を行い、①情報収集、共有、統合と活用の向上、②洪水や渇水リスク軽減のための分野間研究の拡大、③国家・地方レベルでの取組みを支援するための既存の国際イニシアチブの活用を通じた地域連携の促進の3つの具体化方策がまとめられました。

今後も、国際的な会議の場において ICHARM が積極的に関与することで、世界の水災害軽減に貢献していきます。



写真-1 モデレーターを務める小池俊雄センター長